【管理運営状況公表様式】

令和元年度

青森県身体障害者福祉センターねむのき会館の管理運営状況

県所管課	健康福祉部障害福祉課		
指定管理者	(一財) 青森県身体障害者福祉協会		
	会長 山 田 金 治		
指定期間	平成27年4月1日~令和2年3月31日		

1 管理業務の実施状況

業務区分	概 要
身体障害者に対する更生相談、	音声機能障害者発声訓練事業等の障害者生活訓練事業を実施
機能訓練を行う業務	することにより、日常生活に必要な訓練・指導を行った。
身体障害者に対するスポーツ、	県障害者スポーツ大会をはじめ、各スポーツ教室や、レクリエ
レクリエーションの指導等を行	ーション事業を開催し、障害者同士の交流の機会を広げ、社会
う業務	参加を支援した。
身体障害者の社会参加に必要な	地区別パソコン講習会では、支援者を含めた講習を開催すると
援助を行うためのボランティア	ともに、レベルに応じたスポーツ指導員養成研修会の実施を行
養成等を行う業務	い、障害者の社会参加を支援するための支援者の養成を行っ
	た。
施設及び設備等の維持管理に関	法令等に基づいた各種設備の保守管理を行い施設の安全性を
する業務	確保するとともに、適切に施設の維持管理を行った。

2 管理施設の利用状況

_		T			
利用指標	年 度	計画	実 績	計画対比	前年度対比
施設利用者数	H 2 8	14,000 人	16, 126 人	115. 2%	104.5%
	H 2 9	14,000 人	15,779 人	112.7%	97.8%
	H 3 0	14,000 人	15, 143 人	108.1%	95. 9%
	R 1	14,000 人	14,033 人	100.2%	92.7%
スポーツ教室参加者数	H 2 8	600 人	704 人	117.3%	107. 2%
	H 2 9	600 人	836 人	139.3%	118.7%
	H 3 0	700 人	929 人	132.7%	111.1%
	R 1	700 人	953 人	136.7%	102.6%
パソコン教室の参 加者数	H 2 8	400 人	450 人	112.5%	105.9%
	H 2 9	400 人	461 人	115. 2%	102.4%
	H 3 0	400 人	457 人	114.2%	99. 1%
	R 1	400 人	422 人	105.5%	92.3%

【増減理由】

近隣の大学の体育館補修が終了したことによる一般の体育館利用者数及び新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年3月の利用者数が減少したが、計画数は上回った。

スポーツ教室は、スポーツ指導員のサポートが増えたことにより開催回数を増やすことができ、 また、魅力ある教室づくりに努めたことから参加者数が増加した。

パソコン教室は、視覚障害者講習会及び施設へ出向いての知的障害者講習会への参加申込数が減少したことにより、参加者数が減ったものの、計画数は上回った。

3 評価結果

評価項目	指定管理	県所管課		
	者自己評価	評価	コメント	
①サービスの維持・向上に 向けた取組みが適切に行 われているか。	4	4	来館者アンケートにより、ニーズや満足度を 確認し、必要な対応策を講じるとともに、職員 一同、障害者への合理的配慮に努めている。ま た、設置目的を達成するため、各種事業に適切 に取り組んでいる。	
②利用促進に向けた取組み が適切に行われているか。	4	4	ホームページやフェイスブックなどの SNS の活用により、会館の情報や関係機関などの情報を幅広く発信し、施設の利用促進を図っている。また、地域住民及び関係団体との交流、情報交換を行い連携を図っている。	
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に 行われているか。	4	4	来館者アンケートでは施設の清潔さ等について満足度が高く、建物の古さを感じさせないよう必要な修繕等を行い適切に維持管理を行っている。	
④緊急時の対応・安全管理 などの危機管理が適切に 行われているか。	4	4	万が一に備え、全職員参加の防災訓練を実施 し、日頃から防災意識をもって業務に当たって いる。また、青森市の緊急指定避難所に指定さ れており、緊急時への受け入れ態勢を整えてい る。	
⑤指定管理料が適正に執行 されているか。	4	4	真に必要な経費の執行に努めており、指定管理料は適正に執行されている。	
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	4	4	利用者数、スポーツ教室参加者数、パソコン 教室参加者数とも計画目標を達成しており、特 にスポーツ教室には、魅力ある教室づくりに努 めており年々利用者数が増加している。	
⑦その他法令等を遵守した 管理運営が行われている か。	4	4	協定書を順守し、労働法令及び個人情報の保 護に、適正に取り組んでいる。	
総合評価	4	4	利用者へのサービスの充実に向けた取組や、 施設及び設備の維持管理等について適正に行っており、利用者からも概ね評価を得ている。	

○評価基準

5 (秀):業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。

4 (優):業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。

3 (良):業務水準書等の内容が満たされている。

2 (可):業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。

1 (不可):業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。